

2018年3月、超高齢社会のまちづくり展 (CareCITY) 開催 社会課題解決のための専門展示会が誕生！

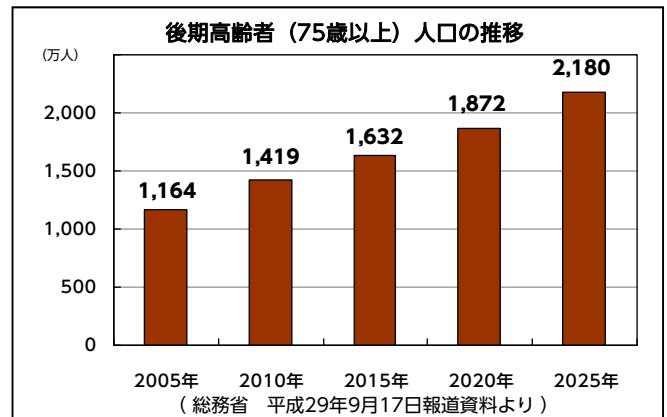
ブティックス株式会社は、高齢者がまちの中でいきいきと生き続けるために必要なサービスやテクノロジーが一堂に展示される「第1回 超高齢社会のまちづくり展 (略称：CareCITY)」を2018年3月に開催します。

- 会期 : 2018年3月14日(水)～16日(金)
- 会場 : 東京ビッグサイト
- 主催 : ブティックス株式会社
- 同時開催 : 第4回 CareTEX [国際]介護用品展 介護施設産業展 介護施設ソリューション展
第1回 [国際]健康長寿産業展 / 第1回 [次世代]介護テクノロジー展
- ※ CareCITYを含めた4展示会の総称「東京CareWeek2018」

■ 75歳以上の高齢者が急増中、社会全体での対応急務に

後期高齢者人口は、団塊の世代全てが75歳以上になる2025年には2180万人 (2017年=1747万人、25%増) に達するものと推計されています。

現在の医療・介護の体制ではこのような急激な変化への対応が物量的に困難であるうえ、国・自治体の財政も逼迫、極めて重要で切迫した課題となっています。社会の健全性や安心・安全が維持できるかは、ここから数年間にどのような対応がなされるかにかかっていると云えるでしょう。そのために国・自治体はもとより、民間企業、学界ほかあらゆる方面の力を既存の枠組みを超えた形で結集する必要があるという認識が、社会全体で共有されつつあります。



■ 企業、大学、官公庁などが結集、課題解決のイノベーションを起こす

ブティックス株式会社は2015年から介護業界国内最大規模のBtoB 商談展であるCareTEXを開催。3回目の昨年3月には360社の企業が出展、介護業界関係者1万5千人が来場する大規模展示会へと成長しています。当社では、介護業界の様々な課題解決はもとより、超高齢社会における課題全体を一体として解決するための場として、CareTEXに加え、3つの専門展示会を新たに同時開催いたします。

その中のひとつ「超高齢社会のまちづくり展CareCITY」は、高齢者が病院や介護施設だけではなく、地域の中で生き続けられるようなまちづくりに必要なサービスやテクノロジーが一堂に集まる展示会です。

なおCareCITYは、課題解決のためにイノベーションを起こす場という本展のコンセプトに賛同いただいた各界のトップの皆様、アドバイザーボードとしてご協力・ご意見をいただきながら企画・運営にあたっています。

出展商品・サービス
<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケア・ICTソリューション 多職種連携・医介連携システム / 訪問看護支援システム 介護サービス検索プラットフォーム 等 ●見守り・防犯・防災サービス ●設計・建築 ●リノベーション・住宅改修 ●地域活性化サービス ●高齢者向け生活サービス 保険外サービス / 訪問マッサージ 等 ●行政向けサービス ●終活支援サービス 等
来場対象者
<ul style="list-style-type: none"> ●地方自治体 (企画・総合政策・地方創生 / 福祉・都市・産業・交通 等) ●都道府県知事・市区町村長 ●政府・中央官庁 ●地方議員 ●介護・高齢者施設 ●訪問サービス 介護・看護・医療 等 ●病院・リハビリ施設 ●調剤薬局 ●地方経済団体・業界団体 ●新しいまちづくりに取り組む企業・団体 (鉄道・不動産・建設・銀行・商社 等) ●地域団体 (自治会・町内会・商店街 等)

CareCITY アドバイザーボード 各分野の第一線でご活躍の下記専門家の方々にご協力をいただいております (敬称略)



●委員長 安西 祐一郎
日本学術振興会理事長
(認知科学)



●代表幹事 竹林 洋一
静岡大学 特任教授
(人工知能)



●委員 岩尾 聡士
京都大学 特定教授
(医療・介護・経営)



●委員 西村 幸夫
東京大学 教授
(都市デザイン)



●委員 廣瀬 通孝
東京大学 教授
(VR・先端技術)

<第1回 超高齢社会のまちづくり展 (CareCITY) の見どころ>

■ 小宮山宏氏、安西祐一郎氏、唐澤剛氏（内閣官房）が基調講演

東京CareWeek基調講演		(敬称略)
		
(株)三菱総合研究所 理事長／ 東京大学 第28代 総長 小宮山 宏	(独)日本学術振興会 理事長 安西 祐一郎	内閣官房 内閣審議官 まち・ひと・しごと創生本部 事務局 地方創生総括官 唐澤 剛

本展では、産官学各界のトップが連日登壇、合計82セッションの大規模なセミナーが開催されます。基調講演の3氏をはじめ、大手チェーンのスギホールディングス 杉浦副社長が薬局の立場から、福島県須賀川市の公立岩瀬病院三浦院長は病院の立場で、さらには愛媛県内子町の稲本町長が行政トップとして、それぞれの観点からの「まちづくり」を語ります。また、VRの権威である東京大学の廣瀬通孝教授は高齢者が働き続けられる環境をテクノロジーを活用して作り上げる構想を話すほか、

同じく東京大学ソーシャルICT研究センター橋田浩一教授は個人データの分散管理を通じた新たな社会のあり方を提案します。また、成田市が導入しているオンデマンドバスも語られるなど、まさに「超高齢社会のまちづくり」のために必要な考え方や最新テクノロジーに関するセミナーが目白押しとなっています。

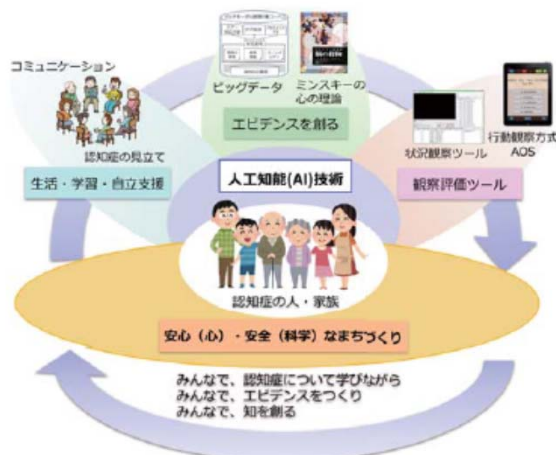
■ 安心・安全な超高齢社会のまちを可視化！注目の特別ビジュアル展示

「まちづくり」という言葉は様々な場面で語られていますが、CareCITYのコンセプトである「高齢者がいきいきと過ごすことができるまち」とは具体的にどのような姿になるのでしょうか？CareCITYにおいては、2つの専門グループにご協力をいただき、新しい考え方の「まち」の可視化にチャレンジしています。

○ みんなの認知症情報学会

人工知能技術でエビデンスをつくり、生活・学習・自立を支援

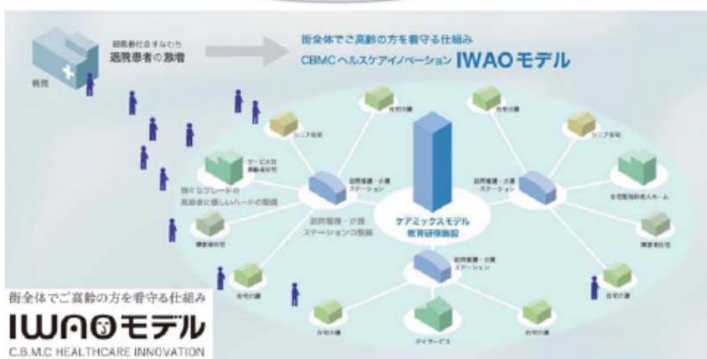
この度設立された同学会が中心となり、福島県須賀川市の安心・安全な街づくり等、特色ある地域の取り組みや「高齢者がいきいきと住み続けられるまち」の具体的な姿を、映像やソフトウェアを通じて紹介します。



○ 京都大学

街全体で高齢者を看守る仕組みづくり CBMCヘルスケアイノベーション IWAOモデル

京都大学特定教授 岩尾聡士氏が提唱する「街全体でご高齢の方を看守る仕組みづくり」について、来る2025年にあるべき街のあり方、病院ではなく医療・介護が担保された街の中で暮らす様子を、今回特別に制作した映像とジオラマを通じて紹介します。



■ 「超高齢社会のまちのあり方」について、企業の提案を発表・展示

- イオン ● 楽天技術研究所 ● UR ● 大和ハウス ● 積水ハウス

大手企業の中でも高齢社会に向けた取組みを積極的に行っている上記5社が、課題解決に向けた企業側からの提案を発表・展示します。

■ 主な出展企業・出展内容（一部抜粋）

CareCITYには下記をはじめ、多数の企業が高齢社会の「まち」に必要な要素となるサービスや技術を展示、同時開催展を含め500社が出展します。

<p>スギホールディングス（株）</p> <p>地域の健康・医療・介護までサポートする 地域密着ドラッグストア</p> <p>薬剤師・管理栄養士が一体となって、食事や運動のアドバイスから症状改善のための対処まで、健康寿命延伸に向けたトータルサービスを提供。行政とも連携しながら、地域の健康をサポートしていきます。</p>	<p>富士通（株）</p> <p>音響センシングによる見守りと コールセンターによる相談サービス</p> <p>生活音などの音響分析による居住者の状況や生活環境の変化を検出する見守りが可能です。 異常が疑われると24時間365日看護師常駐のコールセンターが状況を確認し、必要に応じてご家族等に連絡します。</p>
<p>（株）FCS</p> <p>リハビリマッサージやシニアヨガの活用で 在宅療養支援！</p> <p>高齢者や介護施設事業者向けに、「リハビリマッサージ」や「シニアヨガ」等の健康支援サービスを提供いたします。これからの在宅療養者が激増する時代に、健康年齢の長寿社会を目指し、在宅訪問やオンラインを通じた総合的な在宅健康支援サービスをご提案します。</p>	<p>総合メディカル（株）</p> <p>医療・介護の拠点として、 全国に80件以上の医療モールを展開！</p> <p>医療モールの開発を医療の観点からの街づくりと捉え、全国各地で積極的な支援を行っています。医療、介護、健康・予防、生活支援などの機能を備えた理想の医療モールづくりを進め、相互連携を深めることで、より地域住民の方が住み慣れた街で暮らし続けられる社会づくりに貢献します。</p>
<p>積水ハウス（株）</p> <p>事業を成功に導く積水ハウスの 「高齢者住宅・医療介護施設開発」</p> <p>積水ハウスの長年の住宅事業で培った技術力と提案力を生かして高齢者住宅・医療介護施設の開発のお手伝いをいたします。エリア別に異なる高齢者問題、地域包括ケアシステムに欠かせない医療・介護等の課題について、事業企画、設計・施工の一貫したソリューションサービスで解決に導きます。</p>	<p>（一財）日本老人福祉財団</p> <p>40年の運営ノウハウを活かし、 8番目のCCRCを創ります。</p> <p>日本老人福祉財団は設立当初から、高齢者が安心安全かつ豊かに生活することのできるCCRCの実現を目指してきました。現在、地方自治体や大学の方々と連携して、地域包括ケアの拠点として8番目のCCRC「ゆうゆうの里」を建設予定しています。</p>
<p>インフォコム（株）</p> <p>センサーを活用し、利用者の状況を 遠隔地からでも把握できます</p> <p>「ミマモア」はベッドやセンサーに取り付けるだけで利用者の動きや身体状況を把握することができるシステムです！</p>	<p>（株）コプラス</p> <p>地域資源を活かし、産官学による 都市再生の取組みモデルを提案！</p> <p>まちの持続のため、移住・交流の促進に向けての空地を活用した住宅宅地化の検討、お試し移住住宅・地域交流拠点の整備、若年層や高齢者等の移住・交流を促すための魅力の創出等、仕組みや体制づくりを行っています。</p>

■ 来場事前登録・展示会招待券（無料）の請求は公式HPへ

展示会の会期は3月14日(水)～16日(金)の3日間。入場には、来場事前登録か、展示会招待券が必要。
(プロ同士の商談の場であるため、一般ユーザー・学生・18才未満の方の入場は不可。来場事前登録または招待券がない場合、入場料5,000円が必要)
来場事前登録・展示会招待券(無料)の請求は公式ホームページにて受け付けています。(<http://carecity.net>)

■ 主催者 ブティックス株式会社 とは

介護用品のEC事業、介護業界最大級のBtoB展示会事業、介護施設のM&A事業等で急成長している企業です。介護・高齢者市場を支えるマッチング・プラットフォームNo.1企業を目指し、新しいサービスを次々に立ち上げています。

商号：ブティックス株式会社
設立：2006年11月
資本金：1億1,542万円（資本準備金含む）
代表者：新村 祐三
所在地：東京都品川区西五反田2-28-5 第二オークラビル

本ニュースリリースへのお問合せは

ブティックス株式会社 CareCITY展示会事務局 広報担当
TEL：03-6303-9801 FAX：03-6303-9321 Email：pr@caretex.jp URL：http://carecity.net